

配線路
探査器

電源側負荷側
双方向配線路
探査器

ケーブル
探査器

無停電
漏電点
探査器

位相特性
試験器

低圧用
検相器

3 探査・測定機器

選 定 一 覧

3

1.配線路探査器

探 査 用 途		配線探査・ブレーカ探査		撤去ケーブル の探査	活線での 漏電点探査
品 名		漏電点探査機能付 配線路探査器 Superラインチェッカ	電源側・負荷側双方向 配線路探査器 ロードチェッカ	ケーブル探査器 Superケーブルチェッカ	無停電 漏電点探査器 リークキャッチャー
形 式		TLC-C	LC-B	SWC-B	SLE-A
掲載ページ		3-3ページ	3-9ページ	3-15ページ	3-21ページ
適用回路電圧	A C	AC100V AC200V AC400V	AC100V AC200V	AC100V AC200V AC400V	AC600V 以下
	D C	DC100V DC200V DC400V	—	DC100V DC200V DC400V	DC400V 以下
機 能	死線状態での漏電点探査	●	—	—	●
	活線状態での漏電点探査	—	—	—	●
	配線経路の探査(活線、死線)	●	—	—	—
	ケーブルの探査(死線)	—	—	●	—
	負荷側からのブレーカ探査	●	●	●	—
	電源側からの負荷探査	—	●	—	—
	回路電圧チェック	●	—	●	—

2.試験器

品 名	位相特性試験器
形 式	DGT-M2
掲載ページ	3-25ページ
機 能	手動位相特性試験

3.検相器

品 名	低圧用検相器
形 式	PRC-A
掲載ページ	3-29ページ
機 能	相順の確認 欠相の確認 接地極の確認

活線状態でブレーカや配線路の探査が一人で可能

漏電点探査機能付配線路探査器 Superラインチェッカ

3

TLC-C形

- ノイズカット機能搭載
- センサ部のスリム化
- クランプセンサ付属



■用途

新設・改修工事前およびメンテナンスや不具合時の配線チェックに最適です。

■特長

- ノイズカット機能搭載
- 漏電点の探査が可能です。《停電状態で実施》
- 活線状態、死線状態どちらでもブレーカおよび配線路の探査が可能です。
- 音と光で表示するため判定が容易です。
- クランプセンサでさらに確実な探査が可能です。
- NETIS登録技術です。(登録番号：QS-200008-A)

■機能

- 活線でのブレーカ探査・ケーブル探査・埋設線探査
- 死線での漏電点探査・ケーブル探査・埋設線探査
- 回路電圧チェック（100V、200V、400V）

■定格および仕様

送信器（形式：TLC-C-T）

適用電圧範囲	AC50/60Hz・DCともに12～528V
方式	電流消費型
信号周波数	5kHz
信号電流	200mA _p
信号時間	30ms
信号周期	500ms
動作表示	LED(黄)
電圧表示	LED(赤)(100V・200V・400V)
寸法	112(H)×82(W)×30(D)mm
質量	約111g

受信器（形式：TLC-C-R）

検出方式	信号電流によって発生する磁界を検出
検出周波数	5kHz
内蔵センサー	コイルセンサ2個（電線探索用コイルおよびブレーカ探索用コイル）
外部センサー	クランプセンサ（プラグ接続式）
判定方法	10個の判定用LED（赤）点滅（受信レベル表示）およびブザー音
感度切替	クランプ、電線、ブレーカ、経路、漏電の5段階モード切替えおよび各モード共通のL（低）／H（高）感度切替え
漏電探索可能線路条件	地絡抵抗 2kΩ以下 対地静電容量 0.01μF以下
電源	9V乾電池×1個（マンガンまたはアルカリ乾電池）
電池寿命	約8時間（マンガン乾電池 20℃ 連続受信）
電池寿命表示	BAT-LED（青）（点灯＝良／点滅＝交換時期／消灯＝使用不可）
オートパワーオフ	無操作になってから10分後に自動オフ
オートパワーオフ警告音	1.5秒（ON）→5秒（OFF）→1.5秒（ON）→5秒（OFF）→3秒（ON）最後の3秒のブザー音終了後、電源OFF
適用クランプセンサ	クランプセンサ（M）（内径φ24）（標準付属） 適用電流 AC50／60Hz DC 100A クランプセンサ（LL）（内径φ68）（オプション） 適用電流 AC50／60Hz DC 500A クランプセンサ（L）（内径φ40）（オプション） 適用電流 AC50／60Hz DC 300A クランプセンサ（S）（内径φ8）（オプション） 適用電流 AC50／60Hz DC 30A
寸法	193（H）×51（W）×33（D）mm
質量	約135g（乾電池含む）

クランプセンサ（M）（形式：TLC-C-F1）

適用電圧範囲	AC50／60Hz・DCともに最大528V
適用電流	AC50／60Hz・DC100A
クランプ部内径	φ24
適用クランプ箇所	低圧絶縁電線の絶縁被覆部分（裸導体へのクランプは禁止）
信号ケーブル長	約90cm
寸法	100（L）×60（W）×26（D）mm
質量	約81g

各部の名称



受信器のモード切替えと感度切替え

精度良く探索するために、**モード設定**および**感度設定**は間違えないように設定して下さい。

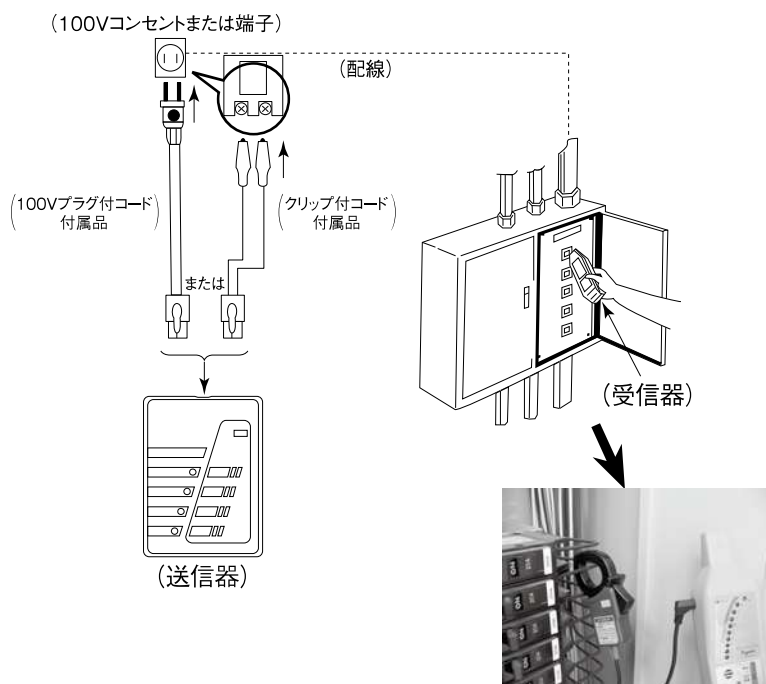
モード切替え	感度切替え	受信器をあてる場所
クランプ	L	活線の電線・ブレーカ接続線
	H	電池で探索する死線電線
電線	L	小電線・ブレーカ接続線 *主に100mm以下の電線
	H	大電線・1Pブレーカ表面
ブレーカ	L	ブレーカ表面
	H	ブレーカ表面（高感度）
経路	L	浅い埋設電線・受信器との距離が近い電線
	H	深い埋設電線・受信器との距離が遠い電線

*ブレーカモードは2Pおよび3Pブレーカ探索専用ですので、他の探索には使用できません。〔センサコイルの方向が他と違います〕

*1Pブレーカ探索時のモードは**電線**、感度は**H**で探索して下さい。**ブレーカモード**では探索できません。

■ 操作手順

1. 活線状態のブレーカ探査



探査場所	モード切替え	感度切替え
1Pブレーカ	電線	H
2P 3Pブレーカ	ブレーカ	LまたはH

- (1) 分電盤の扉を開け、受信器の先端部を保護カバーの上から各々のブレーカハンドル部（電源側）に順次当てて下さい。
- (2) 判定用LEDが最も多く点滅したブレーカが該当のブレーカです。（ブザーも断続して鳴ります）

クランプセンサ使用時

判定用LEDがもっとも多く点滅する電線の近く（主として両隣りの電線）で受信器が若干反応する場合はクランプセンサを使用して探査します。

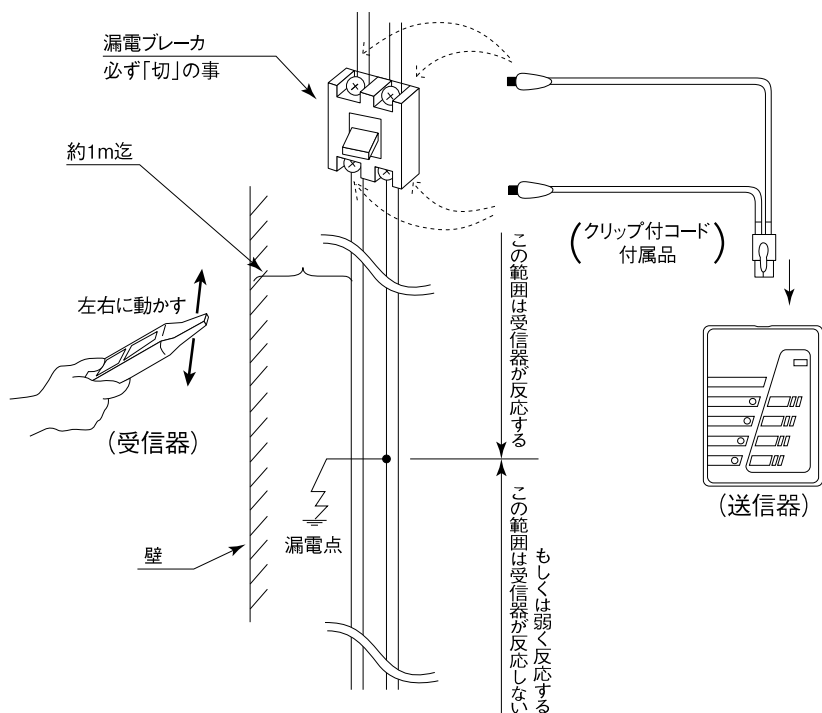
探査場所	モード切替え	感度切替え
ブレーカ電線 または ニュートラル線	クランプ	L

- (1) ブレーカ接続線またはニュートラル線に、クランプセンサをクランプします。

ご注意

- クランプモードのノイズカット機能は非接触探査よりもHIレベルのノイズカットを行います。探査時は少なくとも3秒間はクランプして下さい。
- オプションのクランプセンサ（S）は、スライドレバーを引いてクランプします。
- 許容レベルを超えるノイズがある回路では探査できない場合があります。この場合は、ノイズ発生機器の使用を中止して探査して下さい。

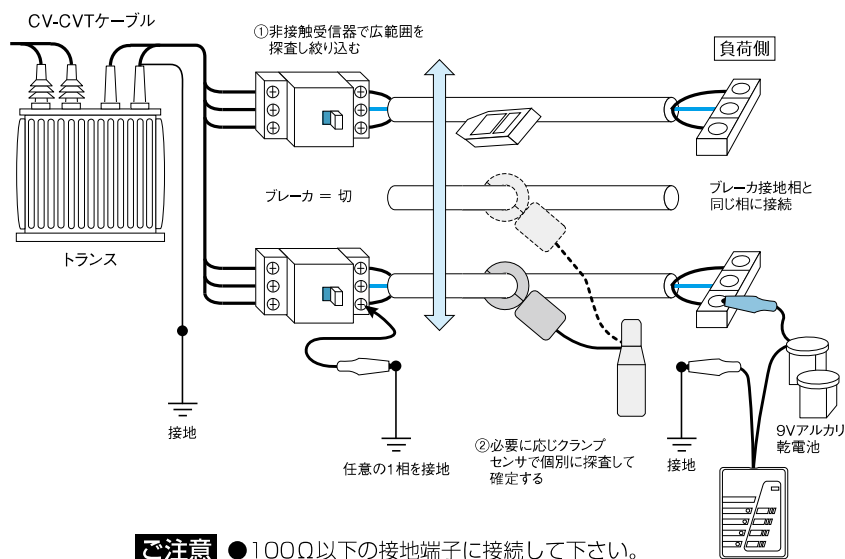
2. 漏電点探査（停電状態）



探査場所	モード切替え	感度切替え
壁面・地表面	漏電または経路	HまたはL
電線表面	電線	HまたはL

- (1) 漏電が発生しているブレーカを『切』にします。
- (2) 送信器をブレーカの各相に接続し、動作表示LEDが点滅する相を探し接続します。
漏電している相かどうかの判断は、受信器のモード切替えスイッチを電線に、感度切替えスイッチをHにして、送信器のリードの1本に受信器を当てます。
判定用LEDが点滅する相が漏電している相です。
- (3) 埋設線の漏電点探査の場合は、図のように受信器を壁面（または地表面）で左右に動かしながら、受信器が反応する所を捜し探査を進めます。反応が弱くなったり、なくなった場所が漏電点です。
- (4) 機器の漏電点探査の場合は、機器の端子部電線および、アース線で探査します。
機器のアース線で受信器が反応する場合は、機器内部で漏電しています。

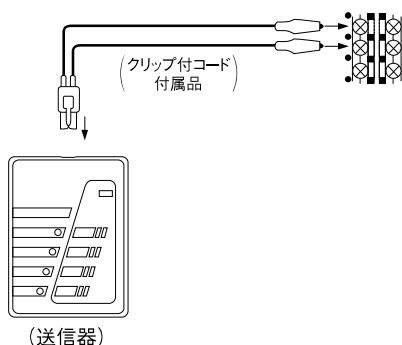
3. 死線状態のケーブル探査方法



探査場所	モード切替え	感度切替え
ケーブルラック・ 配線ピット内電線表面	電線 クランプ	LまたはH L

- (1) 1. の手順で電源ブレーカを探査します。
 - (2) 探査したブレーカを『切』にします。
 - (3) ブレーカ2次側の1相を接地端子に接続します。
 - (4) 送信器に電池クリップ付コードを接続します。
 - (5) 電池クリップ付コードに9Vアルカリ乾電池2個を取り付けます。
 - (6) 片方のクリップを探査する端子（またはコンセント端子等）に接続します。
 - (7) 他方のクリップを接地端子に接続します。
 - (8) 送信器の動作表示LEDが点滅することを確認します。（点滅しない場合は接続相を確認下さい）
 - (9) 受信器で探査します。
- 探査時は受信器を左右に動かし、反応を確認しながら探査を進めて下さい。

4. 回路電圧の確認



- (1) 送信器を電圧チェックしたい端子に接続して下さい。回路電圧表示LEDが点滅します。
- (2) 点滅位置の表示電圧を確認して下さい。

回路電圧表示LED点滅開始電圧

点滅LED	AC	DC
100V	75V±5%	67V±5%
200V	150V±5%	134V±5%
400V	300V±5%	268V±5%

※ランプは電圧範囲のものが1個点滅します。

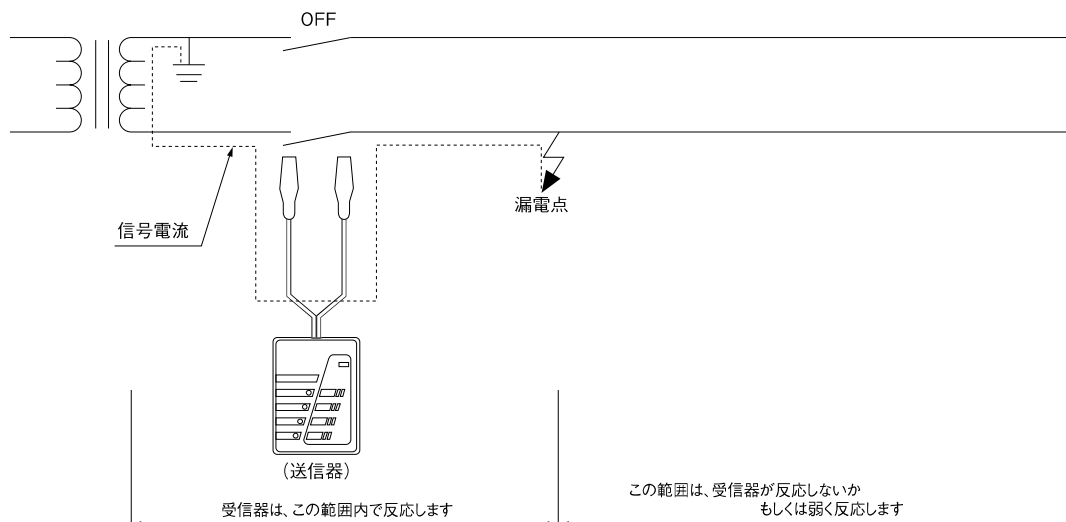
ご注意

●動作表示LEDが点滅しているにもかかわらず、回路電圧表示LEDが点滅していない時は回路電圧が表示範囲以下、もしくは回路電圧表示回路の故障が考えられます。

漏電点探査原理

漏電ブレーカの電源側と負荷側の同相に送信器を接続すると漏電点→送信器→接地点のループ回路が形成され、漏電点の接地抵抗に見合った信号電流が流れます。（下図参照）

この信号電流を受信器によりキャッチし漏電点を探査します。



探査動画はこちら

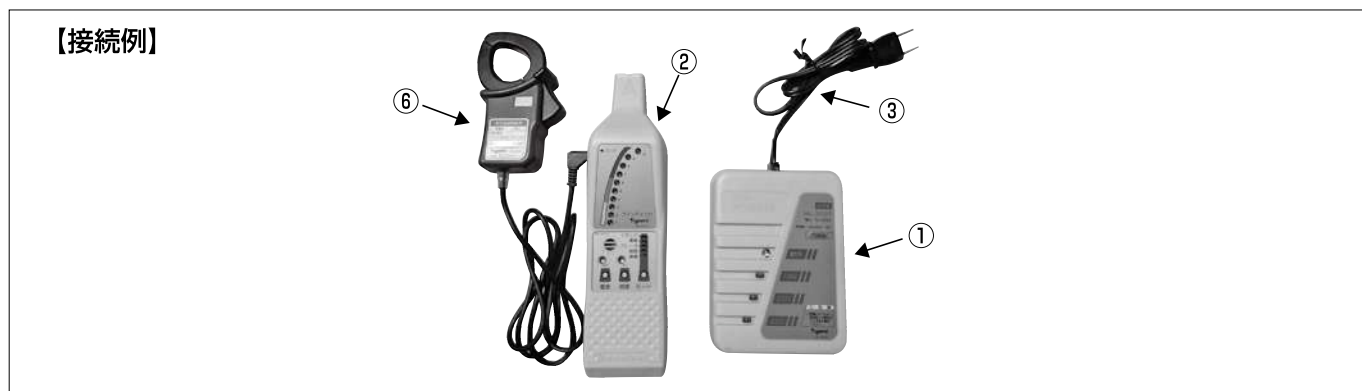


※通信料はお客様負担となります。
※機種によってはご覧にならない場合があります。

■構成



9V乾電池、取扱説明書、キャリングケースも付属します。



■オプション類

クランプセンサ (LL) (TLC-C-F7)



外形寸法: 186(L)×129(W)×53(D)mm
 内径寸法: $\phi 68$
 質量: 約400g
 コード長さ: 約90cm

クランプセンサ (L) (TLC-C-F2)



外形寸法: 128(L)×81(W)×36(D)mm
 内径寸法: $\phi 40$
 質量: 約187g
 コード長さ: 約90cm

クランプセンサ (S) (TLC-C-F3)



外形寸法: 153(L)×18(W)×23(D)mm
 内径寸法: $\phi 8$
 質量: 約66g
 コード長さ: 約90cm

■標準価格表

形 式	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
TLC-C	113,000	

オプション品

品 名	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
クランプセンサ (LL)	109,000	
クランプセンサ (L)	47,000	
クランプセンサ (S)	79,000	

電源側から負荷側の配線路探査ができる

電源側・負荷側双方向配線路探査器ロードチェッカ

3

LC-B形



■特長

- 活線状態、死線状態どちらでも電源側(トランス側)から負荷側(分電盤側)の接続確認が一人で簡単にできます。
- 負荷側から電源側の探査もできます。
- 音と光で表示するため判定が容易です。

■定格および仕様

送信器 (形式: LC-B-T)

使用電圧範囲	AC100~240V±10% 50/60Hz
信号周波数	4.2kHz
信号電流	電源側からの負荷探査時 7mAP-P(約1.6秒通電、約1.6秒停止) 負荷側からの電源探査時 70mAP-P(約1.6秒通電、約1.6秒停止)
接続可能導体径	φ32以下(IV線 325mm ² 迄)
電源	100VACアダプタ(標準装備)または単3アルカリ電池×8本
ACアダプタ定格	AC100V/DC12V
電源表示灯	電池チェック用LED(緑色)点灯
電池使用時	電池寿命 約5時間 電池寿命表示 寿命予告:電池チェック用LED(緑色)点滅 寿命表示:電池チェック用LED消灯
寸法(mm)	送信器 199(H)×117(W)×92.5(D) クランプCT 154×54×21(接続リード線除く) ACアダプタ 84×52×60(電源コード除く)
質量	送信器 約450g クランプCT 約180g ACアダプタ 約345g

共通

使用温度範囲	-10~50℃
使用湿度範囲	相対湿度95%以下
保存温度範囲	-20~60℃

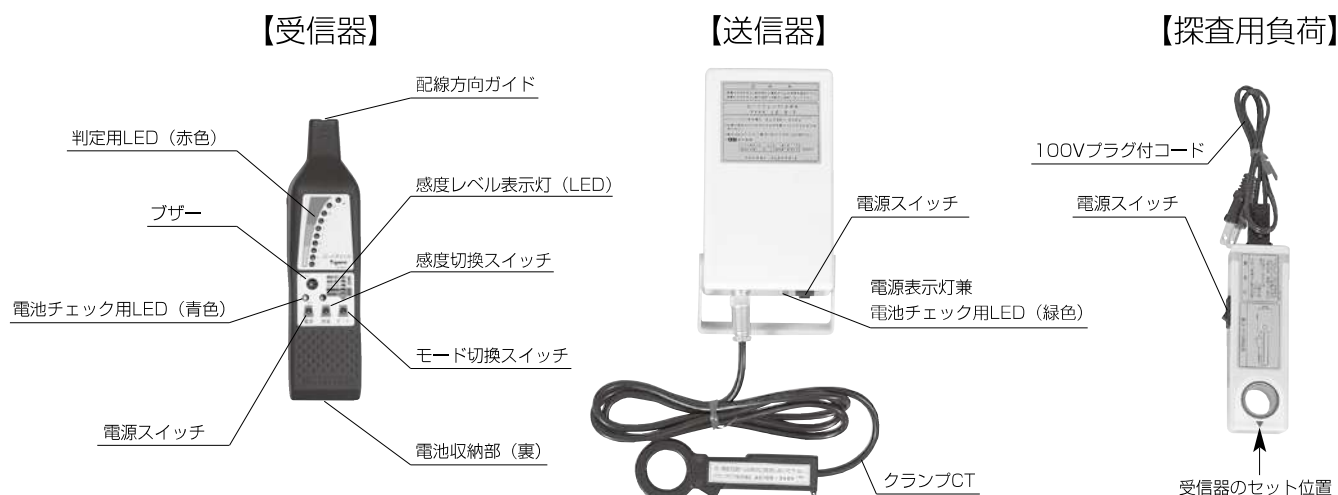
探査用負荷 (形式: LC-B-L)

使用電圧範囲	AC100~240V±10% 50/60Hz
消費電力	20VA以下
寸法(mm)	142(H)×40(W)×25(D)(接続コード除く)
質量	約87g

受信器 (形式: LC-B1-R)

探査方式	信号電流による磁界検出
モード切替	電源側からの負荷探査時 「探査負荷」と「その他」の2段切換 負荷側からの電源探査時 「電線(低)」と「電線(高)」と「ブレーカ」の3段切換
出力	10個の判定用LED(赤)点滅(受信レベル表示)と ブザー断続音(約3回/秒)
電源	9V電池×1本
電池寿命	約10時間
電池寿命表示	点灯…正常/点滅…交換時期/消灯…使用不可
寸法(mm)	192.5(H)×51(W)×33(D)
質量	約137g(電池含む)

各部の名称



3

配線
探査器

電源側
配線
探査器

ケーブル
探査器

無停電
電源
探査器

位相
特性
試験器

低圧
用
検相器

受信器のモード切換スイッチの用途



モード切 換		用途（探査対象）	備 考	感 度
電 源 側	電 線（低）	電線に直接当てて探査する場合	負荷側から電源を 探査する場合	A
	電 線（高）	電線に直接当てて探査する場合		B
	ブ レ ー カ	ブレーカ自身のカバー上面で探査する場合		A
負 荷 側	探 査 負 荷	探査用負荷に直接当てて探査する場合	電源側から負荷を 探査する場合	B
	そ の 他	電力量計等で探査する場合		C

注1：「ブレーカ」モードは2Pおよび3Pブレーカ探査専用ですので、他の探査には使用できません。（センサコイルの方向が他と違います）

注2：1Pブレーカの探査は「ブレーカ」モードではできません。必ずモードを「電線（低）」または「電線（高）」にし、1Pブレーカへの接続電線で探査して下さい。

注3：感度切換スイッチで全モードHI/LOの感度切換が可能です。

注4：探査時、判定用LEDの点滅が5ヶ以下の場合は、1ランク高いモードへの切換（「ブレーカ」モードは除きます）または感度切換スイッチで調節し探査をして下さい。感度はA→B→Cと高くなります。

操作手順

1. 活線状態での電源側からの負荷探査（探査用負荷での探査：基本探査方法）

チェック略図	操 作 手 順	判 定
	- 送信器にクランプCTと100VACアダプタ（電池電源の時は不要）を接続します。 - クランプCTを探査する系統の電線（単相2線式の時は片方の線へ、単相3線式の時は中性線へ、三相3線式の時はS相へ）へ装着し、送信器の電源スイッチを「入」して下さい。 - 探査用負荷を探査するコンセントまたは端子部へ接続します。（接続する時、探査用負荷は必ず電源スイッチを「切」にして行って下さい。） - 探査用負荷の電源スイッチを「入」して下さい。 - 受信器のモード切換スイッチを「負荷側」の「探査負荷」にセットします。（図①-1） - 受信器の先端を探査用負荷の指定箇所（CHECK POINT）へ当てて下さい。（図①-2） - 探査するコンセントまたは端子部へ順次探査用負荷を接続し、③～⑥の手順で探査して下さい。（探査用負荷を取外す時は、必ず探査用負荷の電源スイッチを「切」にして行って下さい。）	受信器表面の判定用LEDが、6～10ヶ約1.6秒間に5～6回点滅し、次の1.6秒間は休止を規則正しく繰り返せば、送信器のクランプCTを装着した電源に接続されています。ブザーは、判定用LEDの点滅に同期して断続音（ピピピという音）を發します。

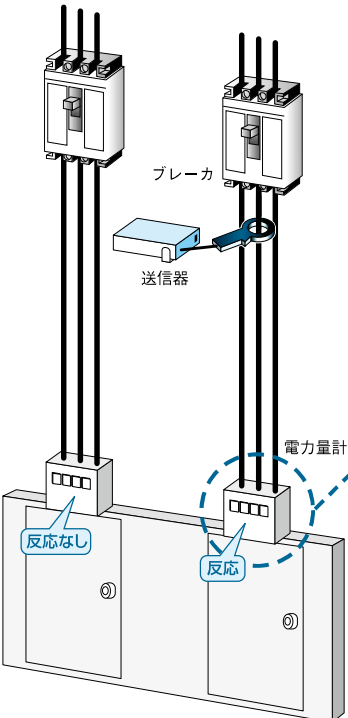
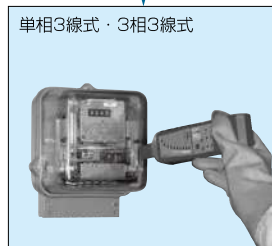
図①-1

図①-2

注1：三相3線（単相3線）式の場合、S相にクランプCTを装着した時は、R-S、S-T相間が探査できます。R-T相間を探査する場合は、R相またはT相へクランプCTを装着して下さい。

2. 活線状態での電源側からの負荷探査

(電力量計での探査：アパート・マンション等で外部にコンセントがない場合の探査)

チェック略図	操作手順	判 定	
	① 送信器にクランプCTと100VACアダプタ(電池電源の時は不要)を接続します。 ② クランプCTを探索する系統の電線(単相2線式の時は片方の線へ、単相3線式の時は中性線へ、三相3線式の時はS相へ)へ装着し、送信器の電源スイッチを「入」にして下さい。 ③ 受信器のモード切換スイッチを「負荷側」の「その他」にセットします。(図②-1) ④ 受信器の先端を電力量計の電圧コイル付近に図示の様に当てて下さい。(図②-2、②-3) 受信器を当てる角度、位置により検出感度が変わりますので、判定用LEDが6～10ヶ点減する様にして下さい。 ⑤ 探査する電力量計を順次④の手順で探査して下さい。	受信器表面の判定用LEDが、6～10ヶ約1.6秒間に5～6回点滅し、次の1.6秒間は休止を規則正しく繰り返せば、送信器のクランプCTを装着した電源に接続されています。ブザーは、判定用LEDの点滅に同期して断続音(ピピピという音)を發します。	
	 図②-1	 図②-2	 図②-3 左側面でも探査できます。

3. 活線状態での負荷側からの電源探査 (コンセント、端子等の電源ブレーカの探査)

チェック略図	操作手順	判定	
ブレーカ 分電盤 100Vコンセント または端子 探査用負荷 送信器 該当ブレーカが反応	① 送信器にクランプCTと100VACアダプタ(電池電源の時は不要)を接続します。 ② 探査用負荷を探索するコンセントまたは端子部へ接続します。 (接続する時、探査用負荷は必ず電源スイッチを「切」にして行って下さい。) ③ 探査用負荷の電源スイッチを「入」にして下さい。 ④ 送信器のクランプCTを探査用負荷の貫通穴へ装着します。(図③-1) ⑤ 送信器の電源スイッチを「入」にして下さい。 ブレーカでの探査 ⑥ 受信器のモード切換スイッチを「電源側」の「ブレーカ」にセットします。(図③-2) ⑦ 受信器の先端をブレーカ表面に順次当てて下さい。(図③-4) 注1：1Pブレーカの探査は「ブレーカ」モードではできません。 モードを「電線(低)」または「電線(高)」とし、1Pブレーカへの接続電線で探査して下さい。 電線での探査 ⑧ 受信器のモード切換スイッチを「電源側」の「電線(低)」にセットします。(図③-3) ⑨ 受信器の先端を電線またはブレーカ端子部電線に順次当てて下さい。(図③-5) 注2：「電線(低)」モードで判定用LEDが5ヶ以下しか点滅しない時は、「電線(高)」モードへの変更および感度切換スイッチにて感度を合わせて下さい。	受信器表面の判定用LEDが、6～10ヶ約1.6秒間に5～6回点滅し、次の1.6秒間は休止を規則正しく繰り返せば、送信器のクランプCTを装着した電源に接続されています。ブザーは、判定用LEDの点滅に同期して断続音(ピピピという音)を發します。	
	図③-1	図③-2	
	図③-3		

4. 死線状態での電源側からの負荷探查（探查用負荷での探查）

チェック略図	操作手順	判定
ブレーカ「切」 短絡線 (注1) 送信器 分電盤 100Vコンセントまたは端子 全て反応 (注1) 全て反応 (注1) 探查用負荷 受信器	- 送信器にクランプCTと100VACアダプタ（電池電源の時は不要）を接続します。 - 探查する系統のブレーカが切れていることを確認し、ブレーカ負荷端子相間を短絡線で短絡して下さい。 - クランプCTを短絡線へ装着し、送信器の電源スイッチを「入」にして下さい。 - 探查用負荷を探查するコンセントまたは端子部へ接続します。（接続する時、探查用負荷は必ず電源スイッチを「切」にして行って下さい。） - 探查用負荷の電源スイッチを「入」にして下さい。 - 受信器のモード切換スイッチを「負荷側」の「探查負荷」にセットします。（図④-1） - 受信器の先端を探查用負荷の指定箇所（CHECK POINT）へ当てて下さい。（図④-2） - 探查するコンセントまたは端子部へ順次探查用負荷を接続し、④～⑦の手順で探查して下さい。（探查用負荷を取外す時は、必ず探查用負荷の電源スイッチを「切」にして行って下さい。） 短絡線で短絡した相に接続された負荷を探查します。 注1：三相3線（単相3線）式の場合、R-S相を短絡した時はR-S相間が探查できます。S-T相を探查する場合はS-T相を短絡、R-T相を探查する場合はR-T相を短絡してクランプCTを短絡線へ装着して下さい。 ⚠ 危険 探查相間短絡線は、探查終了後クランプCTを取外す時に必ず取外して下さい。	受信器表面の判定用LEDが、6～10ヶ約1.6秒間に5～6回点滅し、次の1.6秒間は休止を規則正しく繰り返せば、送信器のクランプCTを装着した電源に接続されています。ブザーは、判定用LEDの点滅に同期して断続音（ビッピッという音）を発します。 点灯 図④-1 図④-2

構成

①送信器	②受信器	③探查用負荷	④クランプCT	【収納写真】
⑤100Vプラグ付コード	⑥クリップ付コード	⑦ACアダプタ		

9V電池、キャリングケース、取扱説明書も付属します。

【接続例】



■標準価格表

3

形 式	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
LC-B	182,000	

ケーブル探査器Superケーブルチェッカ

3

SWC-B形

誤切断を完全防止

手追い探査を解消



■特長

- 撤去ケーブルを確実に探査できます。(誤切断を完全防止)〔撤去ケーブル探査(死線)〕
- 判定が容易です。(該当ケーブルのみに反応)
- 各種外部センサにより、狭隘部ケーブル探査が可能で手追い探査が不要です。(3種類のオプションセンサを準備しています)
- ブレーカ探査や電力量計の誤結線検出ができます。(活線)

■機能

- 撤去ケーブルの探査(死線)
- ブレーカ探査、電力量計誤結線チェック、回路電圧のチェック(活線)

■定格・仕様

送信器(形式: SWC-B-T)

適用電圧範囲	AC50/60Hz・DCともに12~528V
方式	電流消費型
信号周波数	5kHz
信号電流	200mA _p
信号時間	30ms
信号周期	500ms
動作表示	LED(黄)
電圧表示	LED(赤) (100V・200V・400V)
寸法	112(H)×82(W)×30(D)mm
質量	約111g

電源ユニット(形式: SWC-B-P)

適用電圧範囲	AC100V 50/60Hz
出力電流	電線ループ探査時:200mA _p ±10% 大地ループ探査時:接地抵抗合計200Ωで 200mA _p ±10%
出力コード	クリップ付 長さ:3m
寸法	83(H)×130(W)×170(D)mm
質量	約1kg

受信器 (形式 : SWC-B-R)

検 出 方 式	信号電流によって発生する磁界を検出
検 出 周 波 数	5kHz
内 蔵 セ ン サ	コイルセンサ
外 部 セ ン サ	クランプセンサ(プラグ接続式)
判 定 方 法	10個の判定用LED(赤)点滅(受信レベル表示)およびブザー音
感 度 切 替	【ブレーカ探査】 電線(接触)のLO(低)／HI(高)感度切替え、 クランプはLO(低)感度のみ 【ケーブル探査】 電線(遠)および電線(接触)のLO(低)／HI(高)感度切替え、 クランプはLO(低)感度のみ
電 池 寿 命	9V乾電池×1個(マンガンまたはアルカリ乾電池)
電 池 寿 命 表 示	約8時間(マンガン乾電池 20℃ 連続受信)
オ ー ト パ ワ ー オ フ	BAT-LED(青)(点灯=良 / 点滅=交換時期 / 消灯=使用不可)
オ ー ト パ ワ ー オ フ 警 告 音	無操作になってから10分後に自動オフ 1.5秒(ON)→5秒(OFF)→1.5秒(ON)→5秒(OFF)→3秒(ON) 最後の3秒のブザー音終了後、電源OFF
適 用 外 部 セ ン サ	クランプセンサ(S)(内径φ8)(オプション) クランプセンサ(M)(内径φ24)(オプション) クランプセンサ(L)(内径φ40)(標準付属) クランプセンサ(LL)(内径φ68)(オプション)
寸 法	193(H)×51(W)×33(D)mm
質 量	約135g(乾電池含む)

クランプセンサ(L) (形式 : TLC-C-F2)

適 用 電 圧 範 囲	AC0～528V 50／60Hz・DC0～528V
適 用 電 流	AC300A 50／60Hz・DC300A
ク ラ ンプ 部 内 径	φ40
適 用 ク ラ ンプ 箇 所	低圧絶縁電線の絶縁被覆部分(裸導体へのクランプは禁止)
信 号 ケ ー ブ ル 長	約90cm
寸 法	128(L)×81(W)×36(D)mm
質 量	約187g

3

配線
探査器

電
源
側
負
荷
側
探
査
器

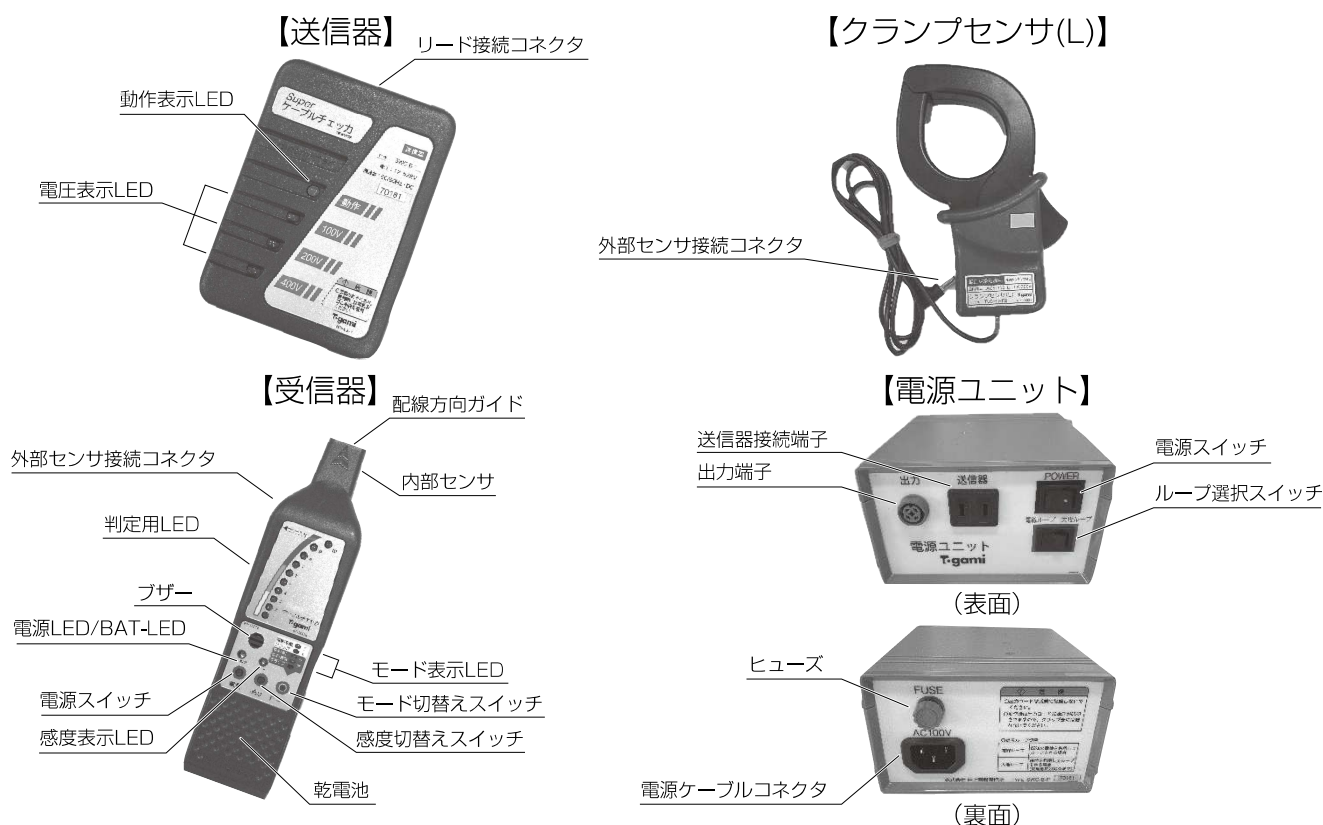
ケ
ー
ブ
ル
探
査
器

無
停
電
漏
電
探
査
器

位
相
特
性
試
験
器

低
圧
用
検
相
器

各部の名称



■ 探査手順

3

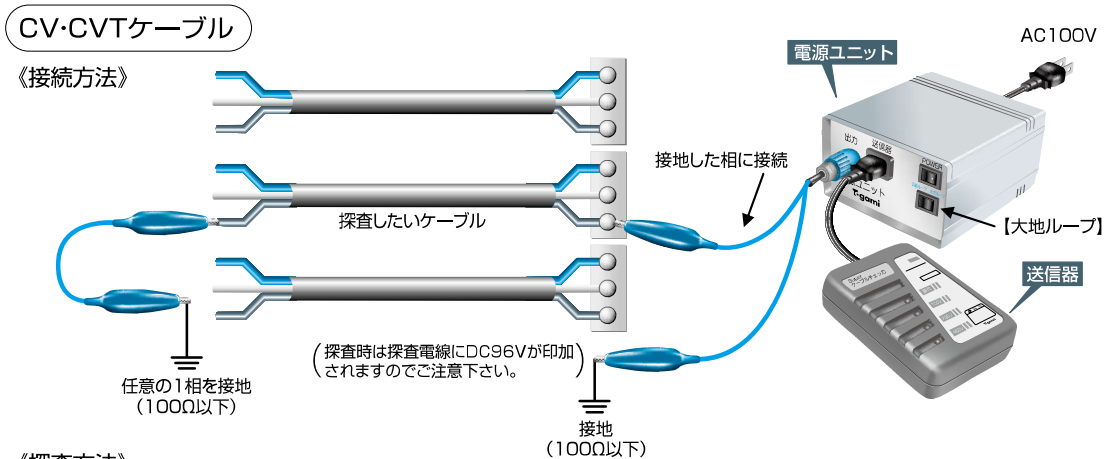
1. ブレーカ探査方法

- ①送信器を改修や点検をしようとする端子部に接続します。
- ②受信器をブレーカに接続されている配線に順次当ててブレーカを探査します。

ケーブル両端が判明すれば撤去ケーブル探査へ

2. 撤去ケーブル探査方法

大地ループを使用したケーブル探査方法(死線状態)

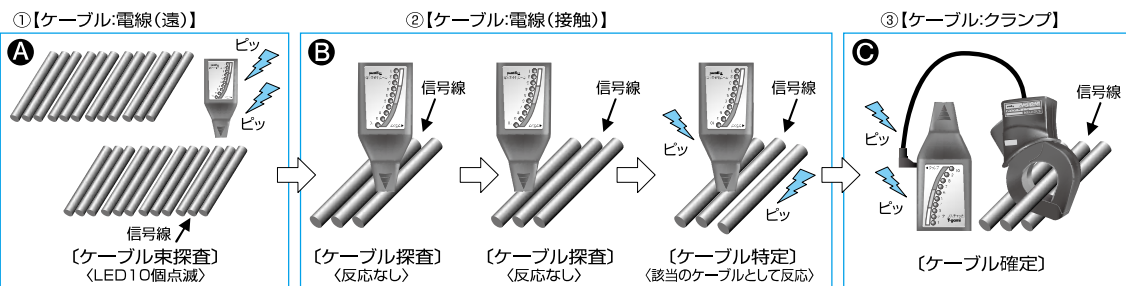


《探査方法》

電源ユニットのループ選択スイッチを【大地ループ】に設定し、POWERスイッチをONにし、送信器の動作表示LED及び回路電圧表示LED100Vが点滅していることを確認して下さい。

※ランプが点滅しない場合はクリップの接続間違い、クリップ部の接触不良、接地抵抗200Ω以上、装置の故障が考えられます。

- ①受信器のモードを【ケーブル:電線(遠)】に設定し、該当ケーブルがあると思われる所を広範囲に探査して下さい。**A**
- ②受信器のモードを【ケーブル:電線(接触)】に設定し、該当ケーブルを絞り込んで下さい。**B**
 - ・1本ずつケーブルに受信器を当て、ケーブルを絞り込んで下さい。
 - ・ケーブル1本につき、3秒以上受信器を当てて下さい。
 - ・信号未受信(探査中)の場合は、LEDが1個移動しながら点灯します。
 - ・LEDが10個点滅したケーブルが該当のケーブルです。
- ③絞り込んだケーブルにクランプセンサを3秒以上クランプし、ケーブルを確定して下さい。**C**
このとき受信器のモードは【ケーブル:クランプ】に設定して下さい。



ご注意

- 100Ω以下の接地端子に接続して下さい。
- 【ケーブル:電線(遠)】は受信感度に応じてLED点滅数が変わるため、一番反応した箇所が該当ケーブル束になります。
- 【ケーブル:電線(接触)】は、オート感度になっているため、一度ケーブルを確定した後は、モード切替SWを押すか、感度切替SWを押して、オート感度を解除して下さい。
- 【ケーブル:電線(接触)】および【ケーブル:クランプ】は、該当ケーブルの場合、LEDが10個点滅します。

■構成

①送信器



②受信器



③クランプセンサ(L)



④電源ユニット



【収納写真】



⑤100Vプラグ付コード



⑥クリップ付コード



⑦出力コード

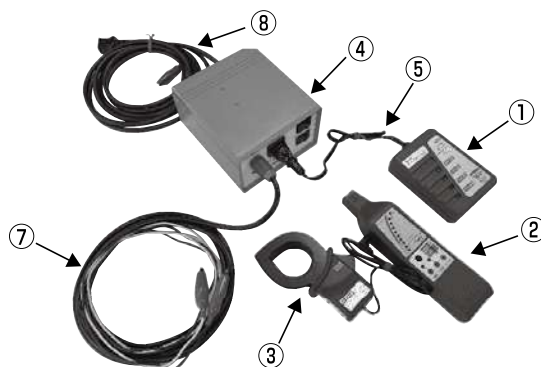


⑧電源ケーブル



9V乾電池、取扱説明書、キャリングケースも付属します。

【接続例】



■オプション類

クランプセンサ(S)
(内径φ8)
(TLC-C-F3)



クランプセンサ(M)
(内径φ24)
(TLC-C-F1)



クランプセンサ(LL)
(内径φ68)
(TLC-C-F7)



■標準価格表

形 式	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
SWC-B	166,000	

オプション品

品 名	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
クランプセンサ (S)	79,000	
クランプセンサ (M)	44,000	
クランプセンサ (LL)	109,000	

3

配線路
探索器

電源側負荷側
双方向配線路
探索器

ケーブル
探索器

無停電
漏電点
探索器

位相特性
試験器

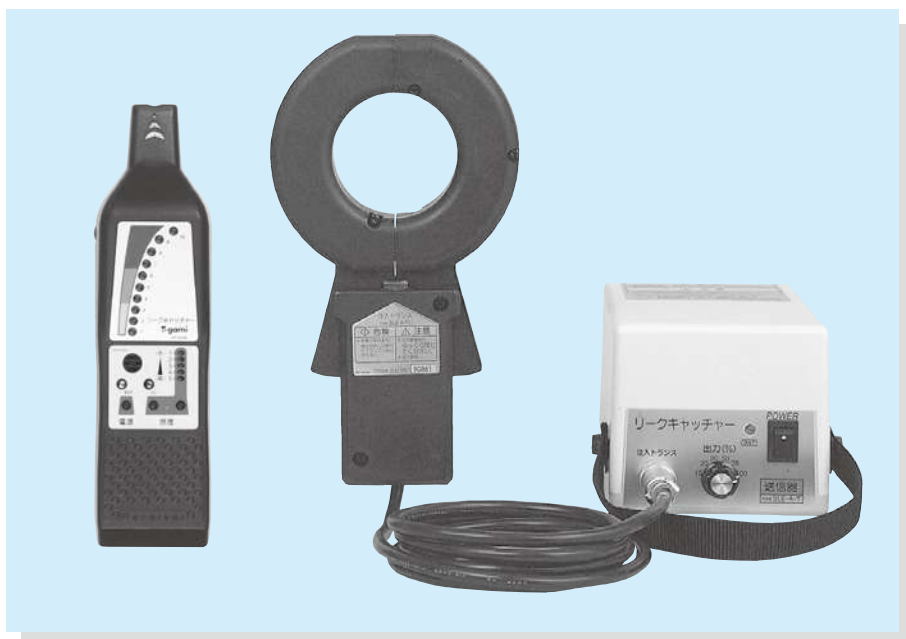
低圧用
検相器

無停電で電線に触れるだけで漏電箇所がわかる

無停電漏電点探査器リークキャッチャー

3

SLE-A形



■特長

- 無停電で漏電点がわかります。
- 信号注入方式のため、加圧相および接地相の漏電点（漏電箇所）がわかります。
- 受信器は電線・器具に触れるだけで簡単に漏電点がわかります。

■仕様

送信器（形式：SLE-A-T）

信号周波数	4222Hz
信号注入時間	連続
信号注入レベル（出力）	10,20,30,50,75,100% (1.2Vp-p)の6段階切替
注入トランス内径	φ60
電源	小形シール鉛蓄電池(12V)

受信器（形式：SLE-A1-R）

検出方式	信号電流による磁束検出(非接触)
出力	10個の判定用LED(赤)点滅(受信レベル表示)とブザー断続音(約3回/秒)
検出感度	10段階切替
電源	9V電池×1

共通

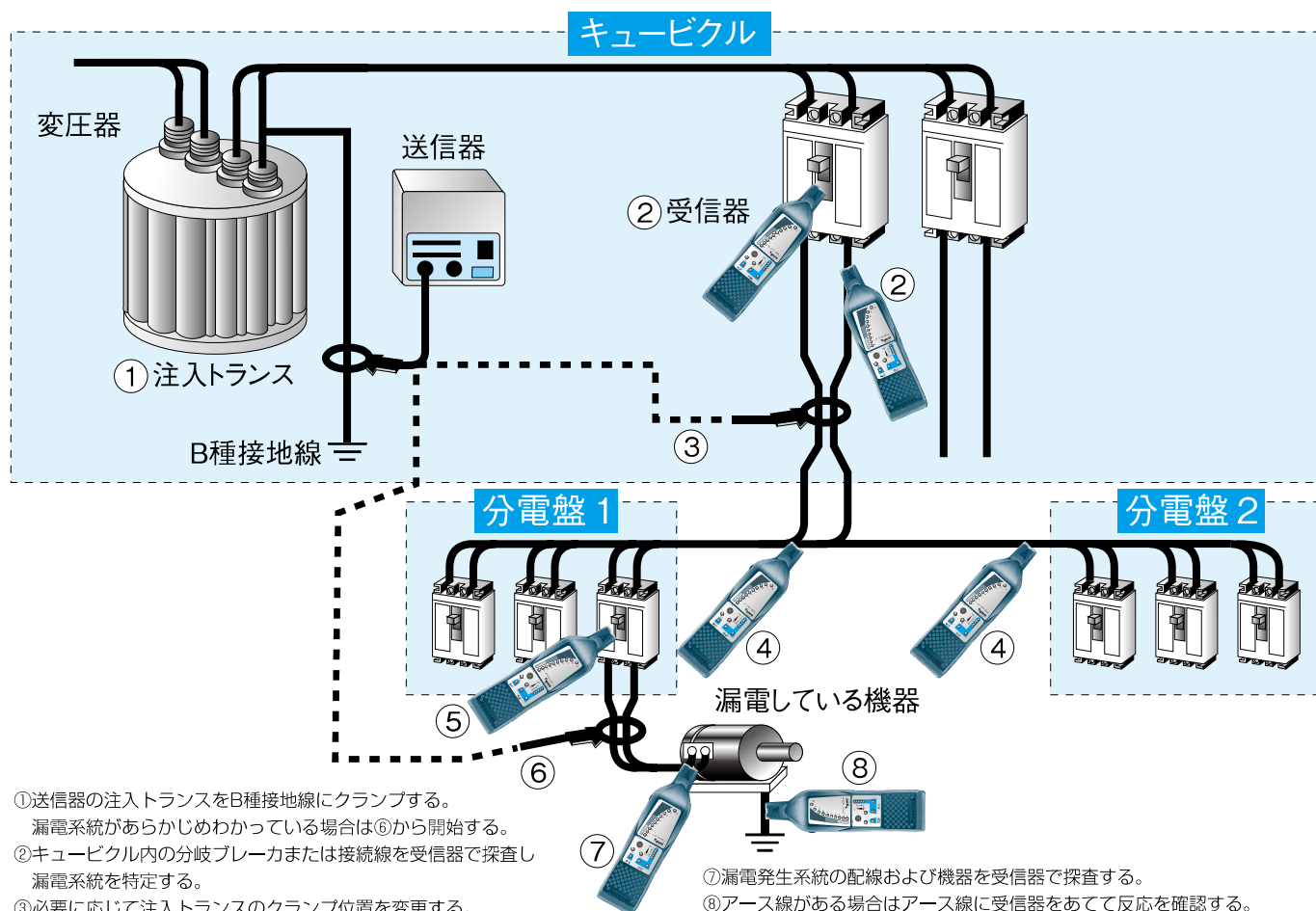
探査可能漏電電流	100V 30mA以上の漏電 (地絡抵抗3kΩ以下)(注)
適用回路電圧範囲	AC600V以下の 低圧配線路
使用温度範囲	－10～40℃
使用湿度範囲	相対湿度95%以下
保存温度範囲	－20～50℃

(注) 探査回路のノイズの発生状況により、探査可能な漏電電流は変化します。
200V回路の場合は60mA以上の漏電となります。

■各部の名称



使用例



構成

① 送信器



② 受信器



③ 注入トランス



⑤ 充電器



⑥ キャリングケース



【収納写真】



9V電池、取扱説明書も付属します。

■オプション類

【シールドカバー】

注入トランスにシールドカバーを装着することによって、注入トランスの信号の影響を受けることなく探査することができます。

	受信器と注入トランスの距離
シールドカバー未使用	2m以上離して使用して下さい。
シールドカバー使用	1m以上離して使用して下さい。



【探査棒】

探査棒に受信器を装着することによって、天井などの高い所を探査することができます。



■標準価格表

形 式	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
SLE-A	239,000	

オプション品

品 名	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
シールドカバー	52,000	
探 査 棒	75,000	

ショルダータイプで携帯に便利

位相特性試験器

3

DGT-M2形



使いやすさを追求

モード切替により
SOG制御装置を動作させずに
試験電流が設定できる
(特許登録済 特許第5359106号)

防塵対策強化

出力レンジ幅の拡大により
各種試験が1レンジで可能

■特長

- 電圧、電流、位相、時間の各要素ごとに4つの液晶表示器にデジタル表示され、非常に見やすい構造となっています。
- 小形・軽量です。(質量6.4kg)
- ショルダータイプで携帯に便利です。
- 発電機等の電源波形に影響されない出力波形無歪みのゼロクロス出力です。
- 出力は電圧、電流、補助電源、トリップ検出を一体化した出力ケーブルを使用しています。
- 慣性特性試験が可能です。
- 試験用コードの接続はコネクタ方式で、しかもすべて色分けでわかりやすく、結線が簡単です。

■定格および仕様

適用試験項目		動作電流試験・動作電圧試験・位相特性試験・慣性特性試験・動作時間試験・活線連動試験	
適用電源	商用電源	電源電圧範囲	AC90V～110V
		電源周波数	47Hz～63Hz
		保護	5A ヒューズ
	エンジン発電機	電源電圧範囲	AC90V～110V
		電源周波数	47Hz～63Hz
		発電方式	正弦波インバータ・サイクロコンバータ
	保護	5A ヒューズ	
消費電力	最大出力状態	150VA	
補助電源	出力電圧	電源電圧をそのまま出力	
	保護	5A ヒューズ	
設定モード	外部出力電圧	未出力	
	外部出力電流（K t－L t間に通電）	最大75mA	
	外部出力時間	約0.5秒（出力ランプも瞬時点灯）	
出力	周波数	50Hz・60Hz ※電源周波数47～53Hzの場合50Hz出力 ※電源周波数57～63Hzの場合60Hz出力 ※上記以外の電源周波数は50Hzまたは60Hzを手動選択	
	電圧	レンジ	25V・1000V
		容量	10VA
		総合ひずみ率	2%以下
		保護	0.2A ヒューズ
	電流	レンジ	1A・2A
		定格出力時負荷抵抗	最大1Ω（1A・2Aレンジとも）
		0.3A出力時負荷抵抗	最大10Ω（1A・2Aレンジとも）
		総合ひずみ率	1%以下
		保護	5A ヒューズ・内部保護回路
	位相	レンジ	LEAD・LAG
LEAD調整範囲		180度～0度	
LAG調整範囲		－180度～0度	
時間計	計測範囲	0～300秒	
	分解能	0～9.999秒	1ms
		10秒～300秒	1秒
寸法（mm）	309（W）×184（D）×247（H）		
質量	6.4kg		

3

配線
探査器

電源側
配線
探査器

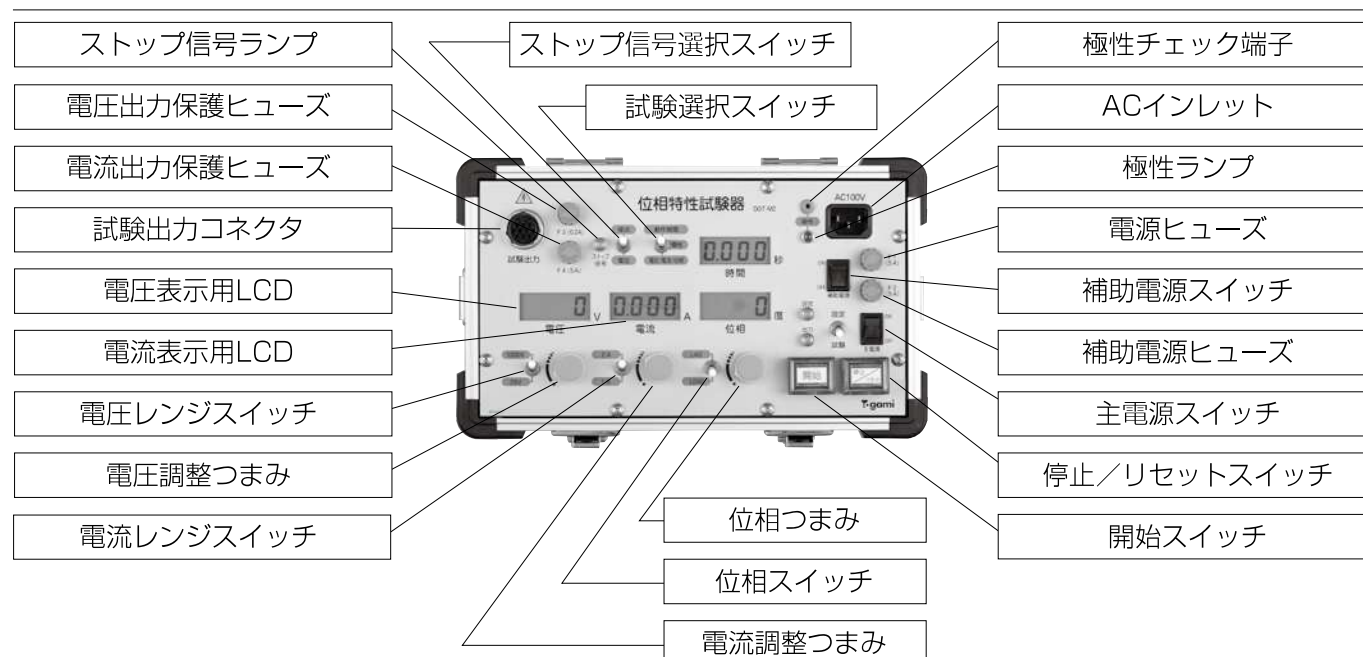
ケーブル
探査器

無停電
漏電
探査器

位相
特性
試験器

低圧
検相器

■各部の名称



■構成



ケーブルバッグ、取扱説明書も付属します。

■校正サービス

本品DGT-M2は精密級のメーターを搭載している試験器です。品質を維持する上で定期校正が必要となります。校正サービスを有料にて承りますので、詳しくは最寄りの支店へお問い合わせ下さい。

■標準価格表

形 式	標 準 価 格(税別)(円)	備 考
DGT-M2	248,000	

低圧用検相器相順チェッカー

3

PRC-A形



■特長

■取扱いが簡単

- ・リード線クリップを主回路に接続するだけで、相順・欠相の確認が簡単にできます。
- ・リード線はソケットと一体構造にし、プラグイン方式としているため着脱はワンタッチでできます。

■軽量・コンパクト

- ・軽量（130g）・コンパクト（28×60×100mm）化しているため、ポケットサイズで持ち運びが便利です。

■安全構造

- ・リード線と本体との接続部は充電側をソケット式としているため、万一口ケットがはずれても充電部が露出しない安全な構造としています。

■測定結果はランプで表示

- ・測定結果はランプで表示するため、判定が確実にできます。

■電池不要

- ・電源は回路電圧を使用するので電池が不要です。